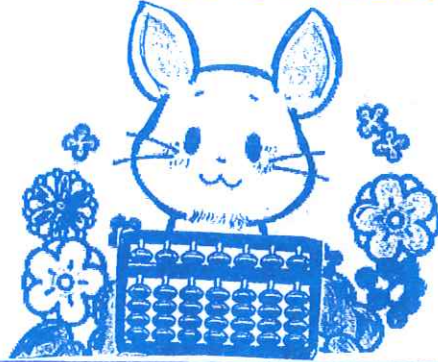


どの子も「珠算式あんざん」のできる子に!



創立70年大阪山本速算会

# まぼろ

発行：大阪山本速算会事務局(大西信二)  
大阪府守口市大久保町5-7-9

## 計算の基本を養う・ソロバン学習 算数・数学の計算能力を伸ばす珠算式暗算

そろばんでの計算は、具体物である珠を使って計算します。自分の手で珠を動かして計算するで計算のしくみを頭で考え、目でよく見て理解することができ、楽しんで、計算力がしっかりと身につきます。

そろばんの計算の基本となる「5」の合成分解を理解し、最初は5になる数を考えながら計算します。

繰り返しの反復練習によって、5の補数計算が、自然と計算できるようになります。

さらに、「10」の合成分解においても同様に、10になる数を考えながら計算しますが反復練習によって自然と計算ができるようになります。

うになります。

さらに2桁の加減算においても、50への繰り上がり、100への繰り上がり計算においても、そろばん珠を見ながら計算するので分かりやすく理解することができ、楽しんで繰り上がり計算ができます。

また50からの繰り下がり、100からの繰り下がり計算においても、目で見える珠で計算するので、繰り下がり計算が分かりやすく理解することができ、反復練習により、繰り上がり計算・繰り下がり計算も自然と速く計算することができます。

そろばんよりの計算力を身につけた生徒は、自信をもって算数の計算問題にも取り組み、正しく速く計算することができます。

計算力が育成すると、算数・数学が得意となることでしょう。

### 検定のお知らせ

- 日本商工会議所主催  
◇珠算1・2・3級検定試験  
十月二十三日(土)
- ◎試験場・当教室  
◇珠算検定認定試験  
十月二十四日(日)
- ◎試験場・守門会議所  
日本珠算連盟主催  
◇珠算準級検定試験  
◇珠算4・5級検定試験  
◇暗算1・9級検定試験  
十月二十三日(土)
- ◎試験場・当教室



### 【教育ひとくちメモ】

要所をしばった注意事項に心がけましょう。



ある市民プールでの諸注意のアナウンスが、「プールサイドを走ってはいけません」「小さいお子様をお連れの方は、絶対に目を離さないで下さい」「アルコール類は持ち込まないで下さい」などなど、絶え間なく流れています。細々した注意事項ばかりであり、あまりの注意事項の多さのために、ほとんどの人は耳を傾けることなく、アナウンスの効果がありません。それらを全部聞いて守ろうとしたら、かえってストレスがたまってしまうでしょう。小言として右から左へ聞き流すようになります。

確かに、必要以上に細々したことを言い続けると、聞くべきことでも、きちんと、聞かなくなります。また、言われないとルールが守れないようにもなります。これでは、自律性も育たなくなります。

お子様のご家庭でも、まったく同様です。要所要所をしばった注意に心がけたいものです。珠算学習においても、初歩学習からその進度にそって適切に指導し、10級・9級・8級へと一歩、一歩の進む、頑張りと努力が、やがて1級合格の目標へとつながるのです。

## ソロバンクイズ

No.682

つぎの例にならって、「そろばんクリプト」を4つの式をつくってください。

例 1 2 3 4 5 答 3

5まいの数をつかって「たしたり」「ひいたり」「かけたり」「わったり」して答の数になるように、式をつくります。どの数カードも1回ずつ使います。

- ①  $2 \times 5 = 10$     ②  $10 - 4 = 6$     ③  $6 \div 3 = 2$     ④  $2 + 1 = 3$

または、①  $5 - 4 = 1$     ②  $1 + 3 = 4$     ③  $4 \div 2 = 2$     ④  $2 + 1 = 3 \dots$  など

問題 つぎの数カード5枚を使って、4つのつくって、答の数カードをもとめてください。

2 4 5 6 8 答 5

① ② ③ ④ = 5

できた人は10月10日までに提出してください

級 名まえ

### 加減算あんざん学習①

珠算式あんざんは「そろばん珠」を頭に浮かべ、その珠(写像)を動かして計算します。

加減算の暗算学習は先生が読み上げる暗算問題を、生徒の皆さんが目線の所に右手を上げて、そろばんの写像を描きながら指を動かして計算する学習します。指導者は生徒の指の動きにより、暗算の計算と共に、運珠・運指を指導にあたります。

生徒の表情からも、生徒の理解度を判断しながら指導できます。珠算学習にあって、読上算・読上暗算の指導は生徒とのコミュニケーションを図るためにも意義があり、特に生徒の暗算力の幅を広げるには最適の指導方法です。しかし暗算はその能力に個人差が大きく、そのために生徒自らがその能力に合った問題(見取暗算)で学習をします。

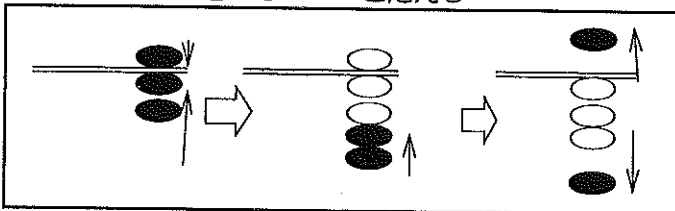
まず、1桁の3口見取暗算問題から学習します。

#### 1桁3口導入問題

頭に浮かぶ珠のイメージを描いて・・・

「あんざんカード」の上でゆびを動かして計算学習します  
運珠・運指にも留意して学習する

例題  $7+2-6=$  答え3



指をカードの珠の上で珠の動きをイメージして計算します。

(あんざんカード)

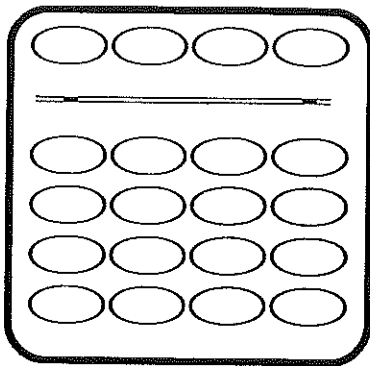
- 一珠をたすときは おや指で
- 一珠をひくときはひとさし指で
- 五珠をたすときはひとさし指で
- 五珠をひくときはひとさし指で



例題のように「あんざんカード」で指を動かして計算しましょう。

#### 練習問題(1)

1	2	3	4	5
2	4	/	4	3
2	-3	3	-2	-2
-3	/	-2	5	5
答え				
1	2	2	7	6
6	7	8	9	10
3	8	7	9	6
5	-7	-5	-2	3
-6	6	6	/	-5
答え				
2	7	8	8	4



### かけ算あんざん学習①

珠算式あんざんは、「そろばん珠」を頭に浮かべ、その珠(写像)を動かして計算します。あんざんの加減算①で珠をイメージして計算する方法を理解してかけ算問題をあんざんで計算する方法を学習します。

あんざん加減算と同様、頭に珠をイメージして、数字を珠に変換して、かけ算九九を使い、その珠で加算して答を求めます。

かけ暗算の方法には実数を中心に実数から乗じるA法と、法数を中心に法数から乗じるB法があります。

#### 法1 桁一1 そろばん珠の写像を浮かべて計算します

実数(かけられる数) 法数(かける数)

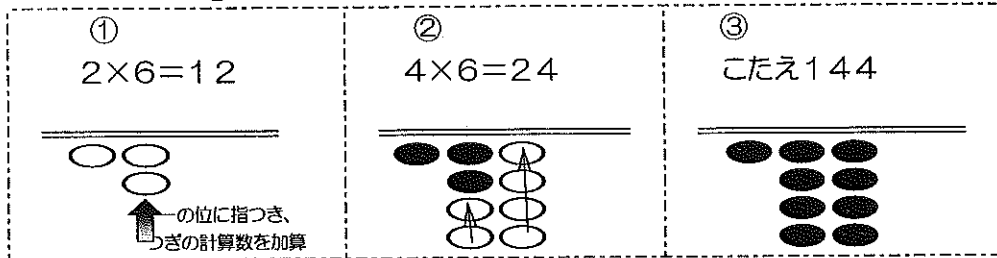
「あんざんカード」の上で ゆび を動かして計算します。

↑: 指つき

A法(実×法) 実数 法数

例題:  $24 \times 6 =$

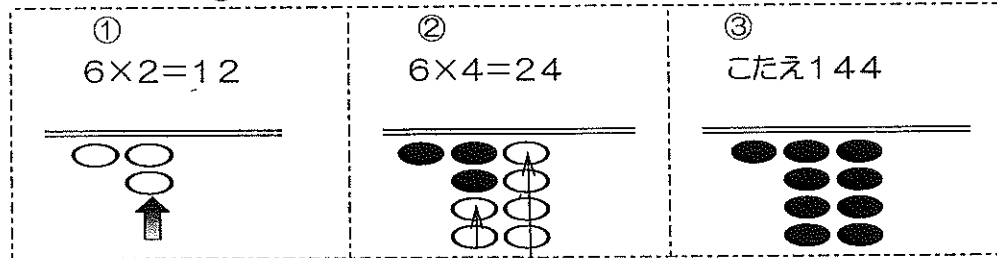
- ①  $2 \times 6 = 12$
- ②  $4 \times 6 = 24$



B法(法×実) 実数 法数

例題:  $24 \times 6 =$

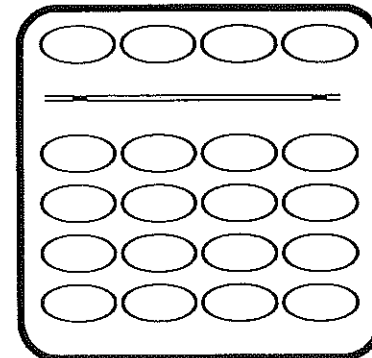
- ①  $6 \times 2 = 12$
- ②  $6 \times 4 = 24$



練習問題(1) 例題のように「あんざんカード」で指を動かして計算しましょう。

1	$23 \times 6 =$	138	4	$74 \times 8 =$	592
2	$42 \times 7 =$	294	5	$85 \times 9 =$	765
3	$35 \times 4 =$	140	6	$19 \times 7 =$	133

「あんざんカード」



「あんざんカード」に指を動かして、珠のイメージで計算しましょう。

お父さん・お母さんも  
一緒に、珠算式暗算を!